

株式&通貨 資源ダブルフォーカス (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

第100期末（償還日 2019年12月20日）	
償還価額	2,524円10銭
純資産総額	248百万円
第95期～第100期	
騰落率	△2.5%
分配金合計	25円

*騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

第95期 2019年7月22日決算 第96期 2019年8月20日決算
第97期 2019年9月20日決算 第98期 2019年10月21日決算
第99期 2019年11月20日決算 第100期 2019年12月20日償還
作成対象期間（2019年6月21日～2019年12月20日）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「株式&通貨 資源ダブルフォーカス（毎月分配型）」は、信託約款の規定に基づき、2019年12月20日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、主に北米の金融商品取引所に上場している資源関連企業の株式の中から主に中小型株に着目して投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

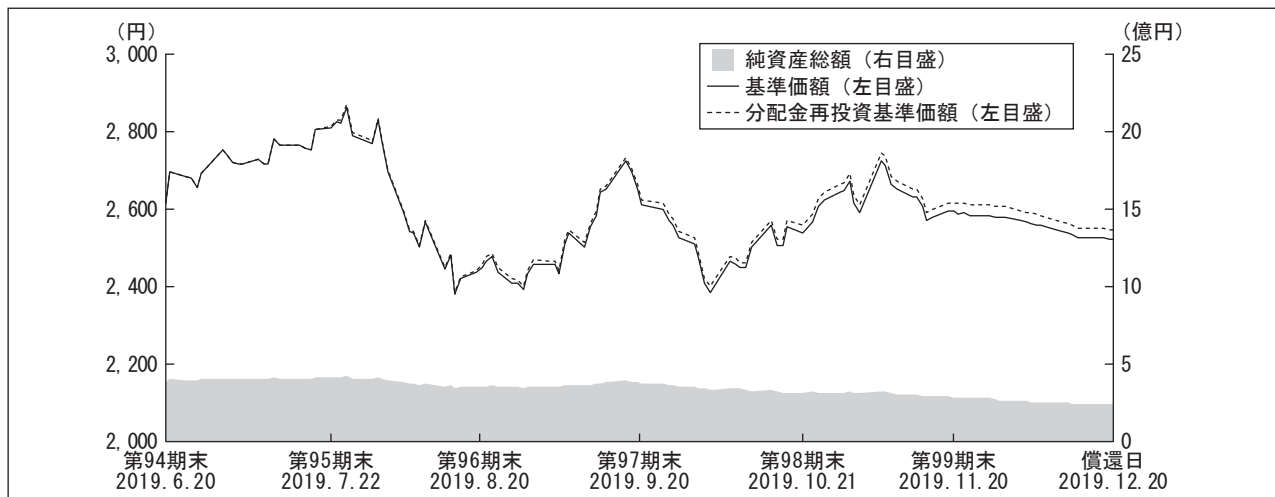


三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第95期首：2,614円

償還日：2,524円10銭（作成対象期間における期中分配金合計額 25円）

騰落率：△2.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Resources Equity Fund Class Aへの投資を通じて、主に北米の金融商品取引所に上場している資源関連企業の株式の中から主に中小型株に着目して投資を行いました。

（上昇要因）

石油輸送サービス会社のTeekay Tankers Ltd.が大きく上昇したことや、金生産会社のRoyal Gold, Inc.やEldorado Gold Corporationが上昇したことなどが要因となりました。

（下落要因）

石油・ガス探査生産会社のOasis Petroleum Inc.が大きく下落したこと、エネルギー探鉱産業向けの海上サポートサービス会社のTidewater Inc.や天然ガス生産会社のEQT Corporation.が下落したことなどが要因となりました。また、資源通貨のロングがマイナスでした。

【1万口当りの費用明細】

項目	第95期～第100期		項目の概要
	2019年6月21日～2019年12月20日		
	金額	比率	
信託報酬	25円	0.966%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は2,617円です。
（投信会社）	(15)	(0.572)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(10)	(0.381)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(0)	(0.014)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	25	0.970	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

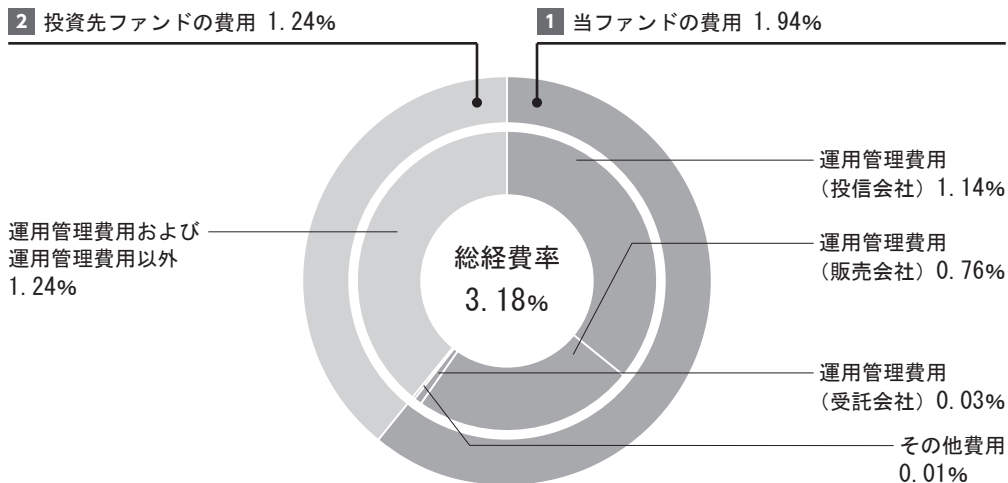
* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）

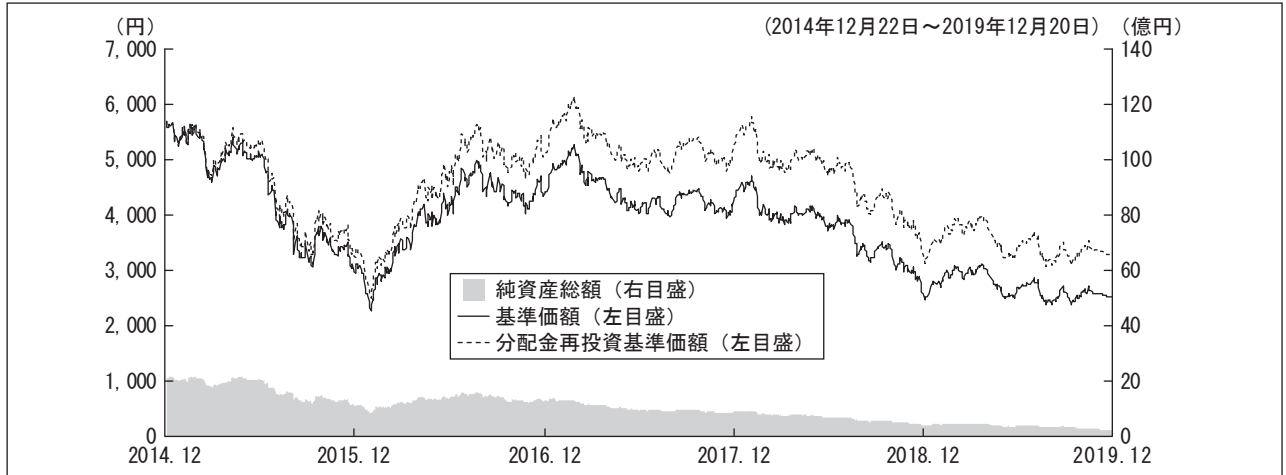


総経費率 (1 + 2)	3.18%
1 当ファンドの費用の比率	1.94%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.24%

- * 1の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- * 2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。
また、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- * 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- * 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は3.18%です。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、2014年12月22日の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年12月22日 期初	2015年12月21日 決算日	2016年12月20日 決算日	2017年12月20日 決算日	2018年12月20日 決算日	2019年12月20日 償還日
基準価額 (円)	5,684	2,993	4,340	4,172	2,625	2,524.10
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	380	240	240	150	55
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△42.6	54.4	1.5	△34.6	△1.9
純資産総額 (百万円)	2,162	1,130	1,275	880	428	248

【投資環境】

当作成期、米国株は上昇しました。北米を除く先進国株式は、上昇したものの米国株に出遅れました。米国株は、7月以降のFRB（米連邦準備制度理事会）による3度の利下げを好感し、上昇基調となりました。

市場センチメント（心理）は、米中通商協議が前向きに進展し始めこれ以上の悪化はない、と好転しました。FRBのハト派的姿勢や前向きな米中通商協議とともにグローバル経済が悪化するとのワースト・シナリオの確度は下がり、10月、11月とS&P500指数など米国の主要株価指数は最高値を更新しました。ただし、米国の11月非農業部門雇用者は266,000人増加と力強く、失業率が1969年以来の低水準3.5%となったことは、いくぶん上昇相場の重石となりました。

国内短期金融市場においては、作成期初-0.14%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.1%~-0.2%のレンジで推移しました。9月末以降は、年越え要因に絡む海外投資家の短期の国債への需要の高まり等を受けて-0.4%近辺まで低下した後マイナス幅を縮小し、-0.15%近辺で償還日を迎えました。

【ポートフォリオ】

■株式&通貨 資源ダブルフォーカス（毎月分配型）

主要投資対象であるResources Equity Fund Class Aを作成期を通じて組み入れました。その後、2019年12月の償還に向けて売却し、2019年12月20日に繰上償還いたしました。

■Resources Equity Fund Class A

エネルギー株はマイナスでした。グローバル景気と原油需給への見通しを主因として、WTI原油先物価格は1バレル=51~60米ドルのレンジで推移しました。素材株は上昇しました。金価格は、中央銀行のハト派的姿勢、中東での緊張の高まりにより、9月に6年ぶりの高値を記録し、金鉱株は堅調でした。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第95期～第99期の各期において5円とさせていただきます。(1万口当り税込み)

なお、第100期につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期
	2019年6月21日 ～2019年7月22日	2019年7月23日 ～2019年8月20日	2019年8月21日 ～2019年9月20日	2019年9月21日 ～2019年10月21日	2019年10月22日 ～2019年11月20日
当期分配金 (円)	5	5	5	5	5
(対基準価額比率) (%)	0.18	0.20	0.19	0.20	0.19
当期の収益 (円)	0	—	—	—	0
当期の収益以外 (円)	4	5	5	5	4
翌期繰越分配対象額 (円)	4,788	4,783	4,778	4,773	4,768

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

お知らせ

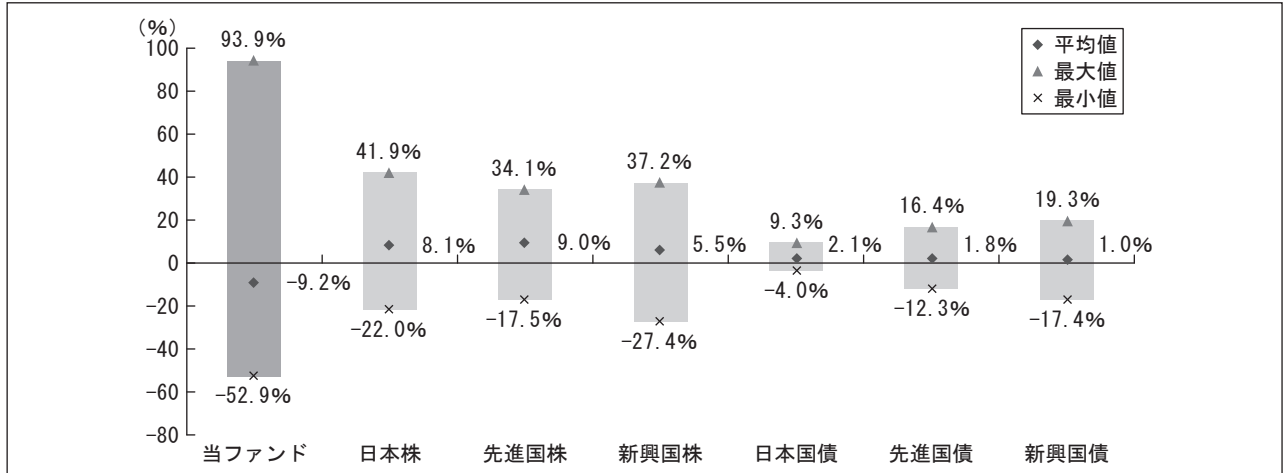
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年6月29日から2019年12月20日（当初、2021年6月21日）までです。	
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、主に北米の金融商品取引所に上場している資源関連企業の株式の中から主に中小型株に着目して投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> Resources Equity Fund Class A受益証券 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券
	Resources Equity Fund Class A	<ul style="list-style-type: none"> 北米の金融商品取引所に上場している株式 為替取引の活用
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。 為替取引を活用して資源国の3通貨（ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランドに概ね均等）で実質的な運用を行います。 	
分配方針	<p>毎月20日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

(2014年12月～2019年11月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

＜各資産クラスの指数について＞

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

【純資産等】

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	償還時
	2019年7月22日	2019年8月20日	2019年9月20日	2019年10月21日	2019年11月20日	2019年12月20日
純資産総額	416,414,664円	358,900,197円	376,291,655円	317,718,361円	290,023,863円	248,598,106円
受益権総口数	1,483,058,635口	1,465,405,115口	1,441,923,720口	1,252,009,770口	1,120,396,418口	984,898,551口
1万口当り基準価額(償還価額)	2,808円	2,449円	2,610円	2,538円	2,589円	2,524円10銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は4,155,799円、同解約元本額は514,558,826円です。